

いのちの電話:急増 失業男性からも 相談日、金・土・日曜日の週3日に / 滋賀

開設2年目を迎えた「滋賀いのちの電話」が9月以降、日曜だけだった相談日を金・日曜に増やしたところ、相談が4.5倍に急増した。失業した男性からの相談も増えているといい、堀川哲夫事務局長は「予想以上。今まで話を聞いてあげられなかったとも言え、毎日開設できるよう頑張りたい」と話している。

同いのちの電話は昨年8月開設。これまでに591件(9月末現在)の相談が寄せられた。リーマンショックに見舞われた昨秋以降、「孤独に耐えられない」「収入がないのに税金だけ請求される」といった男性からの相談が増えたという。

昨年まで月平均20件だった相談件数は、電話回線を2本に増やした今年8月には87件、相談日を週3日にした9月は138件まで増加した。1人当たりの平均相談時間も1月の10.5分から26.6分に伸び、深刻な内容が増えたという。

堀川事務局長は「認知度は上がってきたが、勇気を出して電話してくれるのはごく一部かも。月1回のフリーダイヤルもあるので気軽に電話して」と話している。
【稲生陽】

=====

電話077・553・7387

金、土曜は午後6～10時、日曜は午後2～10時まで。フリーダイヤルは毎月10日

毎日新聞 2009年10月10日 地方版